

本の選書にチャレンジ!!

第3期 子ども司書講座 新聞 第5号



ホームページ公開中

第5回目の講座は、本の選書にチャレンジしました。選書とは、言葉通り、本を選ぶことです。普段、皆さんが街の本屋さんで本を買うときも、選んでいますよね？実は図書館も同じように、選んで購入しています。それなら簡単！と思うかもしれませんが、「選ぶ」ということは難しいことなのです。なぜ難しいのでしょうか？

日本で1年間に出版される本は約7万5千点もあります。（出版年鑑より）1日に約20の冊の新しい本が販売されていることとなります。図書館では、新しく出版された本だけを選ぶのではなく、現在も入手可能な本も選びます。合わせると数十万点にもなります。このように沢山の本のの中から、図書館にふさわしい本を選ぶことは非常に難しい作業なのです。では、図書館はどのように本を選んでいるのでしょうか？図書館には、どのような本を選んで購入するのか、あるルールを決めています。選書方針といえます。

子供向けの本ばかりではいけないし、読み物ばかりじゃ駄目です。他にも学習に役立つ本は数が足りているのかな？同じ本はないかな？など、いろいろなバランスも考えています。「面白そうな本はあるかな？」と考えながら選んでいた子もいたけど、「こんな本は図書館にはないよね？」という考えで選んでくれた子もいました。「選ぶ」という作業は難しいけど、楽しいことでもあります。選ぶから、探す楽しみや読む楽しみもあります。



皆さんに行っていたいただいた選書は見計らいの選書というものです。業者さんが沢山の実際の本を持ってきて、その中から実際に読むことです。今回、「十社の会」にご協力をいただきました。ありがとうございます。



業者さんが沢山の実際の本を持ってきて、その中から実際に読むことです。今回、「十社の会」にご協力をいただきました。ありがとうございます。



こんなに沢山の本を選びました！



第1・2期生も参加せつかく沢山の本を選ぶので、先輩子ども司書の第1期生と2期生も参加してくれました！久しぶりの本の選書に当時と同じように楽しそうに本をえらんでいます！